



ご協力ありがとうございました

1060人の賛同が寄せられ 「意見ポスター」が完成しました

日本共産党湖南地区委員会が取り組んだ「原発から自然エネルギーへの転換を求める意見ポスター」。わずか半月余の取り組みで、目標の1000人を突破し、1060人のみなさんから、1口500円以上の協力金とともに賛同の意思が寄せられました。ご協力いただいたみなさんに感謝申し上げます。完成したポスターは、近日中に賛同者お一人おひとりに届けさせていただきます。

福島原発による放射能汚染は、収束に向かうどころか、深刻さを増しています。「原発依存からの撤退」の声を大きく広げ、世論の力で国を動かす時がきています。日本共産党はその先頭に立って頑張る決意です。

日本共産党への意見

...常に市民の立場に立って行動している政党として陰ながら応援しています。他の政党は総じて頼りにならないと思っています。

...お金に弱い他の政党に比べ、はっきり意見が言える、なびかない意志をもった党だと強く感じています。気に入って見えています。

...今は政党らしい政策をもった党は共産党くらいになってしまったと思っています。アピールが今ひとつ弱いかも。一人でも多く議会へ送って。

...弱者を支援する政策に賛同しています。ピラ配布や街頭演説で地道に取り組み内容を市民に知ってもらえたらと思う。

...朝日新聞の「近聞遠見」の記事を読み、「赤旗」を手に入れ、不破さんの「原発災害講義」を読みました。最近一番感銘を受けたことです。

...過去のイメージは、支持することに抵抗がありましたが、今は、本当に国民のことを大切に考えてくださることを強く感じています。

アンケートの回答で特徴的なことは「いま市政で一番力を入れてほしい事業は」の



小牧一美さん 松葉栄太郎さん

問いに対して、「国保税を引き下げてほしい」が60%、「介護保険の保険料や利用料を引き下げてほしい」が56%、「住民税の引き下げ」が55%。公共料金や税金の負担が増えたと実感している人が全体の68%となっています。さらに「市民病院の充実を」が43%。まさに医療と福祉・介護に関わる要求が断トツで大きいのが特徴です。

また、「若者の就労対策」が37%、「市内のコミュニティバスの導入」が33%だったのも、特徴でした。国政の最大の焦点となっている原発問題では、「廃止すべき」23%、「段階的に廃止すべき」35%、「見直すべき」31%。「これまで通り推し進めたい」と回答されたのはわずか1%でした。地方自治体からも、原発から再生可能なエネルギー政策への転換を発信していく必要があるのではないのでしょうか。

日本共産党守山市委員会が、市内約25000戸に届けた「市民要求アンケート」。これまでにたくさんの回答を寄せていただきました。ご協力に感謝申し上げます。日本共産党は13日、石堂淳吉市委員長、小牧一美市議会議員、松葉栄太郎党くらし対策責任者が、中間集約をまとめ、寄せられたアンケートの具体的な要望も含めて、市政に生かすよう、宮本市長に申し入れました

中間集約 さっそく宮本市長に申入れ

「市民要求アンケート」の「ご協力にも感謝

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 533号 2011・7・13 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。